

令和8年1月号

City Sunrise 情報

Justice & Vigor



発信：弁護士法人

シティサンライズ法律事務所

弁護士 浦田 益之

弁護士 和田 恵

弁護士 磯谷 太一

TEL 058-265-1708

✉ info@urata-law.com

謹んで新春をお祝い申し上げます。
旧年中は何かとお力添えをいただきました。
ただ感謝あるのみです。
今後ともご交誼の程よろしくお願ひいたします。



【浦田益之から】岐阜ラジオの番組「浦田益之の言われてみれば…」で2年以上、“皆さん 輝いていますか”と呼び掛けで参りました。

これからも、この呼び掛けを続け、世を耕すことのお役に立てばと願っているところです。

私も、岐阜に来て60年、すっかり岐阜人になりました。

人生の第4コーナーを曲がったことになり、これから、どんな面白いことがあるのか、胸をときめかせています。たくさんの感動を求め、まだまだ未知なることに挑み続けたい—そんな気持ちで新年を迎える（まだやるのかって）。

【和田 恵から】「共同親権」を柱とする改正民法が、令和8年4月1日施行されます。これに伴い、離婚時に決めるべきことが増え、複雑化するものの、その判断基準が明確とはなっていません。実践を積み重ね、よりよい解決を目指したいと思います。また、1月13日には、犯罪被害者等支援弁護士制度が始まります。これまで日弁連の委託援助事業で被害者援助が行われてきましたが、新しい制度は民事援助も含まれるなど幅広い活動が対象となります。今年もまた日々是精進の精神で参ります。

【磯谷太一から】弁護士登録後12年目を迎え、一昨年、昨年は司法修習生の指導担当を務めておりました。

司法試験に合格後は司法修習生として裁判所・検察庁・弁護士事務所で研修を行うことになっており、約2ヶ月間こちらの事務所で司法修習生を預かるになります。

これから法曹になっていく彼・彼女の姿を見ると、私自身も初心に帰る思いがします。

今年も新鮮な気持ちを忘れず業務に取り組みたいと思います。

「阜」は府のことだと思うが

1 岐阜の「阜」の字は、常用漢字になかった。

常用漢字の仲間入りをしたのは、2010(H22)年11月30日、内閣告示により「常用漢字表」に収録されてからになる。

それまでは、一般の辞書にも出ていなかった。

辞書に出てからも、音訓の例示がない。

通常なら、その字の使われ方が例示されているものだ。

戦国時代には、織田信長が、井ノ口を改めて命名したことで、岐阜は全国に知られたばかりか、漢字での表示はともかく、宣教師ルイス・フロイスが岐阜（岐阜城のこと）をヨーロッパにまで広めてくれた。

信長没後は、岐阜が歴史上埋没してしまったためか、「阜」の字が読めないとか書けないと

で、長い間、岐阜がどこにあるのか知らない人が少なからずいたし、今もいる。

県名が知られていないランキングには、岐阜県、栃木県、群馬県、島根県、鳥取県、佐賀県がいつも上位を占める。

- 2 「阜」の字がそれだけ使われていないのかと気になったので、調べたが、期待が外れ、1例しか見つからなかった（他に例があれば教えてもらえないか—船着き場の埠頭があるが、字が違っている）。

長野県下伊那郡泰阜村（やすおかむら）がそれだ。

それでも、うれしいことに、泰阜村は、「福祉の村」と呼ばれ、脚光を浴びていた。

他村のことながら、その充実振りたるや、他を寄せ付けずにいるので、伝えたくなつた。

泰阜村は、天竜川東岸の農山村（64.59m²）とあり、人口約1500人、戸数約650戸で、高齢者がその4割に及ぶ。

役場は、「ひと・地域が輝くむら」を理念として掲げており、高齢者中心の在宅福祉を重視し、ふるさと納税の活用による地域活動への参加を促し、各種の手当・助成の充実を図ることを村づくりの基本にしていた。

①手当・助成

未熟児養育医療給付、不妊治療費助成、定期予防接種費用償還払い、任意予防接種費用助成、福祉医療費給付、授乳・育児相談利用料助成、児童手当、保育料（軽減）、子育て家庭優待パスポート、出産祝金、学校給食費補助、通学定期助成、中学入学祝金、奨学金、チャイルドシート購入補助、やすおか村タクシー券（小・中学生や70歳以上の利用者半額助成）

②子育て家庭への住宅援助

村営住宅家賃助成金、住宅新增築補助金、持ち家助成金、住宅用地取得補助金

③ひとり親家庭と多子・多胎児家庭の援助

児童扶養手当、就学援助

障がい児がいる場合

特別児童扶養手当、障がい児福祉手当

④自立支援・医療の援助

育成医療、更生医療（自己負担分の助成）

- 3 こんな小さな村が、大した予算も組めないので、どうして欲張った福祉行政ができるのか、知って驚くほかない。

地域パワーを出せ、知恵を絞れということか。

- 4 知ってのとおり、信長は、天下統一の拠点作りのため、井口（いのくち）の地名を改めることから手を付けた。

古代中国の周王朝の文王が岐山から天下を平定した故事にちなみ、また、戦いのない平和な世が続くことを願っては学問の祖と崇められた孔子の生地の曲阜から、それぞれ一字を取り岐阜と命名したとされる。

また、一説には、禪僧の沢彦宗恩から岐山、岐陽、岐阜という地名をその候補として上げられたとする。

さて、信長が岐阜を選んだのは、阜なら単なる丘を指すにすぎないので（この地は丘とはいえない）、思いを巡らしては、阜が政（まつりごと）の府（行政・軍事の中心）に通ずるからと読んでこれを使っていたのではないかと、私は勝手に推測している。

天下布武を目指していたから、信長ならやりそうなことだ。

それまでは、城は戦闘に備える軍用施設だけのものであったが、信長は、岐阜城を政庁としても用いている。

次回案内 岐阜放送「ぎふチャン」

浦田益之の言われてみれば… 1月28日（毎月第4水曜日午後4時5分から）